

佐保女学院短大 渡辺 綾子

1. 本研究は従来 of 前後差のある原型に基づいた元型とは根本的に異なり、ただ一枚の型紙で裁断することができる4分の1方式による簡易裁断法である。(渡辺式10分間裁断原型特許出願36の36750号、衣服型紙実用新案60042号、衣服学会雑誌第9巻1号別冊参照)

2. これは裁断の簡易化とスピード化を主眼とした元型の根本的改革であって、これを考案するに当たっては、立体裁断その他あらゆる方式を研究し極限まで簡易化を計った。とかく簡易化された物は体型に合わないという既成観念を破って、殆んど仮縫の必要なく身体に合うよう考案されており、しかも出来上がりの作品には原型にダーツを入れて適度の運動量が加味されているため、着用感は遙かに快適である。

3. この原型を用いた各元型は全て拡大方式を採用しているため、極めて短時間で裁断することができ、しかも他の式の如く前後各種の元型を作る必要がなく、ただ一枚の型紙で足り、保存面においてもはなはだ便利である。この元型を用いて4枚一度に裁断すれば、用尺の点においても経済的となり裁縫も簡単になる。前後差のある人体に4分の1方式を用いることには多大の困難を伴ったが、多年の研究といくたの試作の結果、ようやくこれらの問題を解決した。特に授業時間の限られた大学の被服科において一層学習効果を高めるには、原型および元型の簡易化が最も重要な課題であるにもかかわらず、従来なんら見るべき改革がなされていない現状に鑑み、渡辺式10分間裁断原型による元型を発表する。